

社会協通信

発行・編集／社会福祉法人 広島市社会福祉協議会
〒730-0052 広島市中区千田町一丁目 9-43 (広島市社会福祉センター内)
TEL 082-243-0051 FAX 082-243-0032
URL : <http://www.shakyo-hiroshima.jp/>
E-Mail : chiiki@shakyo-hiroshima-city.or.jp

地域×子どもたち×
大学生による

「生きた授業」

修道大学のボランティアグループ「Eフロンティア」のメンバーが、地域の支えのなかで、小学生の学びを応援しています。



地区社協活動拠点で
行う「金平学習塾」。
学年を越えた
「集団指導」の一場面。

毎週土曜日の午後、落合東地区社会福祉協議会の活動拠点(落合東福祉センター)では、修道大学の学生グループ「Eフロンティア」(代表:加藤友輔さん)のメンバーが、地域の小学生(4年生から6年生)向けに無料で学習塾を開いています。この活動は、子どもの学びを応援したいEフロンティアと「朝ごはん会」などを通じて子どもの育ちを支援していた落合東地区社協との思いが一致し、平成25年3月から始まりました。

各記事につけられた以下のマークは、その事業が本会「地域福祉推進第7次5か年計画」のどの基本目標に属するかを表しています。



僕たちのこだわり



開塾当初から、Eフロンティアの一人が講師となり、子どもたちとやり取りをしながら授業を進める「集団指導」にこだわっています。「成績だけを見れば、個別指導の方が早く上がる。しかし、異なる学年との交流や人とのつながり、いい意味での他者との比較など、集団指導でしか得られないものもある。」(代表:加藤さん)

学校や普通の塾と違い、毎回の参加者の人数、学年、学習意欲などは、そのときになってみないとわかりません。異なる学年の子どもたちが一度に学ぶため、相手の反応を見ながら柔軟に対応しています。学校の授業の復習や学校の宿題をしますが、個別に噛み砕いて説明したり、応用問題を出したりする、授業をフォローするメンバーの役割も重要です。きめ細やかに全体のバランスに配慮しつつ、明るい雰囲気ですべては進んでいきます。

僕たちと地域のこれから



「アルバイトでも『教える』経験はできるが、地域や周りの人たちに支えられる経験はアルバイトではできない。お金を払ってもできない貴重な経験」と語るEフロンティア。「地域のニーズを巻き込みながら、地域にあった形でこの活動が日本中に広まってほしい」、「自分がおじいさんになっても、この活動が続いてほしい。広島に貢献したい」との展望を持っています。

いきいきと語るメンバーは、まだ大学1、2年生。これからの地域での活躍と子どもたちの成長が期待されます。

地域の大人から、「こんなにも学生が頑張るとは思わなかった」との言葉を受け、「信じてもらっている」という実感が学生の力になっているようです。

市・区社会福祉協議会では、このような学習支援の取り組みを通じて、学生や子どもたちの育ちを支援する地域づくりを進めて行きたいと考えています。

「地区社協現況調査」&「地域福祉推進委員活動状況調査」からみる 地区社協のすがた



3年ごとに実施している調査から、今回は次のような地区社協像が見えてきました。

調査の概要

- 調査時期：平成25年 6月1日～6月30日
- 調査方法：郵送調査

◎地区社協現況調査

前回調査(平成22年度)

〔調査対象〕138地区	137地区
〔回答数〕 129地区	123地区
〔回答率〕 93.5%	89.8%

◎地域福祉推進委員調査

前回調査(平成22年度)

〔調査対象〕138名	137名
〔回答数〕 134名	122名
〔回答率〕 97.1%	89.1%

地区社協現況調査

新・福祉のまちづくり総合推進事業

(近隣ミニネットワーク、ふれあい・いきいきサロン、ボランティアバンク)



高齢化が進む中、取り組みの必要性や重要性の認識が高まっています。

●近隣ミニネットワークづくり…災害時要援護者避難支援事業と連携した取り組みが広がっています。また、訪問のきっかけとして救急医療情報キットの配布をしている地区社協もありました。

●ふれあい・いきいきサロン…それぞれさまざまに工夫を凝らし、誰もが参加しやすく、より身近な場所での開催を目指している地区社協の姿が見えてきました。

●ボランティアバンク…頼みやすさという視点から「有料」の取り組みを検討・実施する地区社協がある一方で、地区社協の行うボランティア活動という視点から「無料」での取り組みを継続する地区社協もあり、両方の形が見えてきました。

地区社協の声

★複数の町内会が合同でサロンを開催していましたが、平成24年度から3つの会場に分かれて実施しています。会場が身近になったためか参加者が増えてきています。

★本来、サロンは交流を通じてお互いを知ることなので、「地域の人の得意技の発見と地域デビューの機会を提供する」視点を持つように心がけています。

その他、地域の取り組みについて

団地や過疎地域では、通院や買い物など、日常生活に直結する「移動」について課題に感じている地区社協が増えています。

その対応として、バス会社や行政への要望のほか、地区社協として専門委員会でも検討したり、乗合タクシーに取り組むなど、地域が主体的にこの課題に取り組んでいる様子が見えてきました。

このような、地域の移動や交通手段確保の取り組みについては、今年度の地区社協役員等実践講座のテーマとして取り上げ、いろいろな取り組みを発表してもらいました。

地域福祉推進委員活動状況調査

広島市域では、地区社協会長の推薦により区社協会長が委嘱する形で、平成元年度より地区社協に1名の地域福祉推進委員を設置しています。今回の調査から次のような地域福祉推進委員像が浮かび上がってきました。

地域福祉推進委員が地域内で認知されていない、地区内での位置づけや役割が不明確、他の役職とも兼務しているため、それぞれの立場が難しいといった声が聞かれました。

この課題は、長年の市・区社協の課題でもあるため、今後、この結果を元に、改めて地域福祉推進委員の役割や活動を明確にしていく予定です。

一方、地域住民からの感謝の声や喜びの声を聞き、やりがいを感じた、嬉しかったという経験をされた推進委員も半数以上おられました。

地域福祉推進委員の声

★他団体との協議の場が少なかったのだが、そうした場を設けた時、「これまでできなかった活動なのでありがたい」と感謝され、やりがいを感じました。

回答していただいた地区社協の皆様には感謝いたします。広島市社協として、これらの結果を分析し、今後の取り組みに活かしていきます。ご協力ありがとうございました。

市社協地域福祉推進第7次5か年計画で 掲げた課題に取り組んでいます!

1. 社会的孤立・生活困窮者支援にむけて

実践研究会立ち上げ

市・区社協における相談活動の状況を横断的に把握し、今後の総合相談機能の強化策や、社会的孤立にある人の社会参加促進、多様な生活課題を持つ人への支援のあり方などについて検討する内部プロジェクトチームです。7月30日、まず勉強会を開催しました。

支援団体連絡会開催

社会的孤立・生活困窮者への相談・支援活動を行っているのは、行政や社協だけではありません。さまざまなNPO等の先駆的な取り組みが広島にもたくさんあります。そういう団体同士がネットワークをつくり、さらに迅速かつ効果的な支援活動を進めていくことを目的として、連絡会を開催することを呼びかけました。

9月3日の初回会合には、19団体31人が参加し互いの活動を知りあいました。

次回は生活困窮者像の共有化をはかる内容で、あつまることを確認しました。



2. 市民向け実践発表会の開催

10月27日(日) 12時~15時 東区総合福祉センター3階大会議室 参加費300円
(申込不要、どなたでもお越しください)

「ここが私の居場所です!-出会いが楽しみ、まあ来てみんさい-」

社協の取り組みや先進的な事例、地域社会全体に関わる取り組みなどを市民に発信する実践発表会です。今年度は「居場所づくり」という社会的課題をテーマとしてとりあげました。日ごろの活動の様子が丸ごとわかるように、ブース出展等に工夫を凝らします。実践者同士がつながりあう場にもなるような会にしていきたいと思えます。

各区社会福祉協議会の地域福祉活動第6次5か年計画

広島市社協の5か年計画を基盤とし、各区社会福祉協議会でも今後5年の事業推進方針・計画をつくりました。それぞれの区が特に力を入れようとしている取り組みを紹介します。

中区	情報発信の強化による「見える社協」づくりを目指します。また、マンション等集合住宅における孤立高齢者問題等、都市部ならではの今日的課題への対応について検討するとともに、子どもの育ちを支援する地域の取り組みを応援していきます。
東区	従来から実施している東区の地域特性を反映した独自事業に加えて、新たに、団地の高齢化対策、緊急食料提供事業、住民参加型在宅福祉サービス団体との連携のあり方、安定した財源確保について等、検討していきます。
南区	災害ボランティアセンターのシミュレーションを通じた、地域、施設、大学との連携をすすめます。
西区	つながりを意識した小地域福祉活動やボランティア活動、個別支援活動を推進します。
安佐南区	区内には多くの大学があります。大学と地域をつなぎ、学生のボランティア活動を支援するとともに、地域の活動を理解してもらうことで、将来、地域で活動する人材の養成を図ります。また、孤立しがちな子育て世帯や障害者への支援活動を、他団体とも連携しさらに推進します。
安佐北区	「ひろげ・ひろがる活動助成」 たすけあいのまちをつくるために 地区社協が実施する、地域の様々な課題に対応する先駆的・開拓的な取り組みを支援するため、活動経費の一部を助成するものです。平成25年度より安佐北区独自の地区社協助成金として開始しました。
安芸区	地区社協とともに取り組んできた住民参加による協働の発展を図り、地域性に応じた取り組みと新たな社会的課題に対応する活動をすすめます。
佐伯区	各地区社協において、50世帯程度に1人の福祉委員を設置し、要援護者への声かけ、福祉問題の早期発見等を行い、民生委員、地域包括支援センター等と連携を取りながら、50世帯程度の小地域エリアを単位とした見守り活動の推進・強化を図ります。

東日本大震災から2年半、 ひろしまで続ける被災者支援



「アスチカ〜設立1周年」を迎えて

設立当時は80世帯だった会員数も、現在は100世帯を超え300名余りとなりました。当会は被災3県のみならず、全ての地域から避難された方々を対象としていますが、これは広島県で把握している避難者数の半数以上にあたります。

交流会も、9月で19回目を迎えました。また、7月の呉市での交流会を皮切りに広島市外へもその輪が拡がり始めています。アスチカで「何ができるの?」「どこから進めていけばいいの?」と暗中模索の1年でした。交流会の他、健康に関する勉強会をしたり、情報の共有を図ったり、できることから少しずつ活動をしてきました。今後は、時間の経過と共にメンタルケアが重要だと感じています。

毎月新たにアスチカに入会される方がいらっしゃいます。これからも広島を新たな故郷と決めた方、今後の生活に迷っている方と向き合い、広島の皆様と共に「明日へすすむ力」を育てていきたいと思えます。



「ひろボラネット」

広島市被災者支援ボランティア本部の登録ボランティア有志により、2011年11月23日に設立しました。東北の被災地、そして広島への避難者に対して支援活動を行なう災害ボランティア団体です。

2012年1月より、広島市ボランティア情報センターの登録利用団体となり、3月から赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」(中央共同募金会)の助成事業に決定され、安定した支援活動が出来るようになりました。「人との出会い」や「人と人とのつながり」「人と自然とのつながり」を大切にしながら、競争でもなく自己満足でもない「被災者のために」を出発点に被災者のサポーターとして活動しています。支援活動を続けている広島の団体や個人との連携が、あらゆる困難を乗り越える力になると信じています。



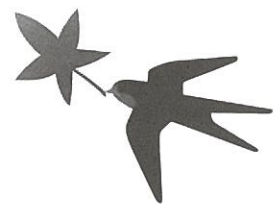
「南相馬ボラバス応援隊」

広島市被災者支援ボランティア本部が行ってきた「南相馬土日お茶会サロン」(ボランティアバスで南相馬市の仮設住宅を訪れ、被災者と交流を深める活動)の経験者により、2013年4月7日に設立しました。

グループの活動内容は、引き続きボランティアバスで南相馬市の仮設住宅を訪ね、お好み焼きの提供、ボランティアの特技を活かしたレクリエーションや楽器演奏などを通して、被災者の傍に寄り添うことです。仮設住宅にお住まいの方々に、ふるさと家族のもとに帰郷する感覚で参加していただきたいと願っています。

今後のボランティアバスの出発は、12月、2月、3月を予定しています。

また、被災地へ行く活動以外にも、仮設住宅にお住まいの方が作られた手芸品を広島で販売したり、被災者を広島に招待したり、被災体験談の聞き取りや記録をするなど、幅広い取り組みを進めています。



この活動を支えてくださっている(株)にしき堂様と(株)つばめ交通様に感謝の気持ちをこめて、ロゴマークにしています。

下半期の主な事業です。ぜひお越しください。

事業名	日時・場所	備考
成年後見制度講演会	平成25年10月4日(金) 安佐南区総合福祉センター	成年後見制度の概要・活用事例・制度利用支援事業の紹介など。 いずれも同じ内容です。ご都合に合わせてご参加ください。 入場無料でどなたでも参加できますが、事前申込が必要です。 ※時間はいずれも13:30~15:40
	平成25年10月18日(金) 安佐北区総合福祉センター	
	平成25年11月1日(金) 西区地域福祉センター	
	平成25年11月15日(金) 中区地域福祉センター	
広島市老人大学祭	平成25年10月26日(土) 27日(日) 10:00~15:00 広島市社会福祉センター	広島市老人大学・大学院の学生が日頃の成果を発表する場です。 芸能発表・作品展示・食堂・バザー(26日のみ)・模擬店など。 ぜひお越しください。
広島市社会福祉大会	平成25年11月20日(水) 13:30~16:10 アステールプラザ 中ホール	社会福祉関係者などが一堂に会して地域福祉のより一層の増進を誓い、併せて永年にわたり社会福祉の向上に尽力された方々に感謝の意を表することを目的に開催します。
地区社協役員等 実践講座	1回目「移動手段の確保編」 平成25年10月4日(金) 2回目「広報活動編」 平成25年10月31日(木) いずれも10:00~15:00 東区総合福祉センター	おおむね就任3年以降の地区社協役員を対象に、地区社協活動がより充実していくことを目的に、地域での取り組み実践を取り上げた講座を開催します。

共同募金が始まりました



今年も、10月1日(火)に基町クレド広場において、厚生労働大臣、中央共同募金会会長のメッセージが広島県知事、広島市長、共同募金会会長に伝達され、「じぶんの町を良くするしくみ。」を全国統一スローガンとして共同募金運動がスタートしました。

昨年度の広島市域における共同募金は、景気低迷が続く厳しい経済情勢の中での募金運動でしたが、皆さまの献身的なご支援により、募金目標額1億円に対して募金額8928万3199円の協力を得ることができました。

また、平成23年3月に発生した東日本大震災での被災者に対する義捐金も、途切れのないご支援が続き、受付期間を延長して中央共同募金会を通じて被災地へお送りしています。

これもひとえに多くの市民に励まされ支えられての成果であり、町内会・自治会の役員の方をはじめ、市民各位の深いご理解とご支援によるものであると心よりお礼申し上げます。

異常気象と噂されるなか、近県においても大規模な災害が発生しています。このような災害時には、身近な人とのつながりが支援を必要とする方々を支えていくために大きな力を発揮するとも言われています。

少子高齢社会が進展するなか、福祉コミュニティづくりを推進していくための活動を支えているのは皆さまの募金で、共同募金の役割でもあります。

こうしたなか、本年度も厳しい情勢ではありますが、1億円を募金目標として「赤い羽根共同募金運動」に取り組みますので、昨年度に増す募金実績が達成できますよう、格別の御理解、御協力をお願い申し上げます。

平成25年度
共同募金へのご協力
よろしくをお願いします!



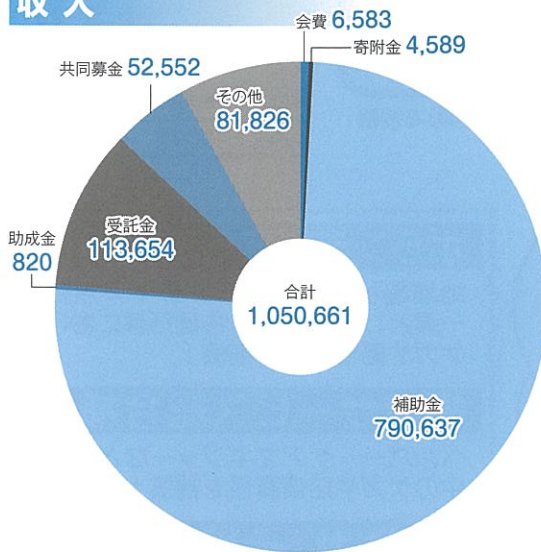
お問い合わせ先

TEL 243-0051 FAX 243-0032

広島市共同募金会 〒730-0052
広島市中区千田町1-9-43 広島市社会福祉センター内

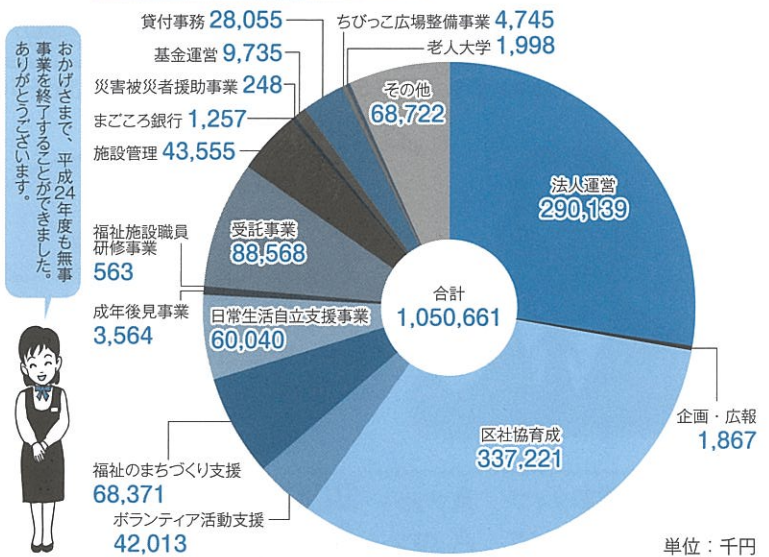
平成24年度 広島市社会福祉協議会 決算報告

収入



【決算】実質収支（※貸付事業特別会計を除く）

支出



単位：千円

おかげさまで、平成24年度も無事事業を終了することができました。ありがとうございます。



社会福祉法人 広島市社会福祉協議会 賛助会員を募集しています！

本会の活動にご賛同いただき、「賛助会員」としてあなた（貴社・団体）も地域活動に参加してみませんか。納めていただいた賛助会費は、地域福祉推進の基礎的団体である地区（学区）社会福祉協議会のために使います。

賛助会費

法人 10,000円
個人 1,000円

※口数は何口でも結構です。

※本会は社会福祉法人ですので、個人の場合は「寄附金控除」「住民税額控除」、法人の場合は「法人税法上の損金算入」ができます。

賛助会員へのご協力ありがとうございます

次の方々から賛助会員のお申し込みをいただきました。
【平成25年3月11日～平成25年8月31日（敬称略順不同）】

法人 72社 83口

OD倶楽部、株式会社桐原容器工業所、医療法人ピーアイエーナカムラ病院、医療法人比治山病院、医療法人和同会広島パークヒル病院、医療法人光臨会、株式会社メルファム中国支社、三栄産業株式会社、栄和電気株式会社、株式会社福屋、医療法人和同会広島シーサイド病院、株式会社フレスタ、ホテルセンチュリー21広島、医療法人社団光仁会梶川病院、株式会社朝日コーヒーショップ、その他57法人

個人 1,517人 2,294口

ご協力いただきました皆さま、ありがとうございます。これからも、地域福祉を推進する本会をご理解いただき、さまざまな地域活動に積極的に参加していただくとともに、賛助会員としてご支援・ご協力をぜひお願いいたします。

まごころ銀行へのご協力ありがとうございます

本会まごころ銀行に、次の皆さまから尊い御寄附をいただきました。厚くお礼申し上げます。
（平成25年4月1日～）

平成25年8月31日現在・敬称略

●一般寄附者

広島朝鮮学園チャリティゴルフ大会実行委員会、そごう・西部労働組合

●物品預託者

【自走用車椅子】

フジモトHD株式会社

【よしもと紙屋町劇場公演チケット】

中心市街地にぎわい創出推進協議会

皆さまからお寄せいただいた浄財は、高齢者・児童・障害福祉など明るい地域社会を築くために活用させていただきます。



まごころ銀行では、香典返しなどの慶弔返戻金、チャリティーバザーやコンサートの収益金など善意の預託（寄附金）をお受けしています。

お問い合わせ・ご相談は
広島市社会福祉協議会
TEL 243-0051
FAX 243-0032

日本国内でのボランティア活動中のケガや賠償責任を補償!!

ボランティア活動保険

全国180万人
加入!!

Aプランは、死亡1,200万円、入院6,500円、通院4,000円、賠償責任5億円(限度額)を補償

<http://www.fukushihoken.co.jp>

ふくしの保険 検索



特徴は

- 活動場所と自宅との往復途上の事故も補償!
- 熱中症(日射病・熱射病)による障害も補償!
- ボランティア自身の食中毒や特定感染症も補償!
- 地震など天災によるケガも補償(天災タイプご加入の場合)

ボランティア行事用保険

地域福祉活動やボランティア活動の一環として行われる各種行事におけるケガや賠償責任を補償!

福祉サービス総合補償

ヘルパー・ケアマネジャーなどの活動中のケガや賠償責任を補償!

送迎サービス補償

送迎・移送サービス中の自動車事故などによるケガを補償!

年間	基本タイプ	Aプラン	300円	Bプラン	450円
保険料	天災タイプ	Aプラン	460円	Bプラン	690円

※各プランの補償金額、補償内容などの詳細は、専用のパンフレットをご用意しておりますので、最寄りの社協にお問い合わせください。

お申込み、お問合せは、あなたの地域の社会福祉協議会へ

団体契約者

社会福祉法人
全国社会福祉協議会

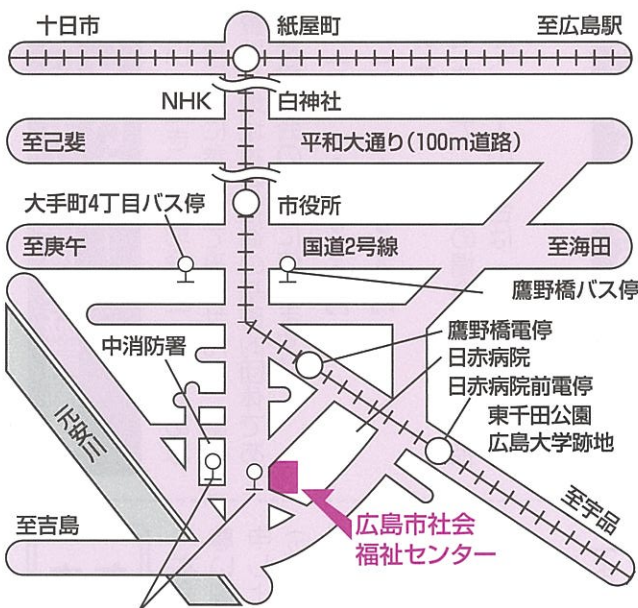
この保険は、全国社会福祉協議会が保険会社と一緒に一括して契約を行う団体契約です。

取扱代理店

株式会社 福祉保険サービス

〒100-0013 東京都千代田区霞が関3丁目3番2号 新霞が関ビル17F
TEL:03(3581)4667 FAX:03(3581)4763
受付時間:平日の9:30~17:30(12/29~1/3を除きます。)
(引受幹事保険会社) 日本興亜損害保険株式会社

〈43LC12-0163 平成25年2月作成〉



広島市社会福祉センター前バス停

広島市社会福祉センターの 会議室やホールをご利用ください

広島市社会福祉センターは、市民の生活文化の向上と社会福祉の増進を図るために設置された施設です。

このセンターには、ちょっとした会議やミーティングなどに利用できる大小の会議室や講演会などが開催できる最大定員350名のホールなどがあります。

皆様のご利用をお待ちしております。

所在地: 広島市中区千田町一丁目9-43

(中消防署の正面向い)

TEL(082)243-0051 FAX(082)243-0032

利用時間: 午前9時から午後9時まで

休館日: 毎月第3日曜日・8月6日・年末年始
(12月29日~翌年1月3日)

受付時間: 平日午前8時30分から午後5時15分まで
(土・日曜日、祝日、休館日は除きます。)

社会福祉法人

広島市社会福祉協議会

〒730-0052 広島市中区千田町1-9-43

広島市社会福祉センター内

TEL (082) 243-0051

FAX (082) 243-0032

URL <http://www.shakyo-hiroshima.jp/>

▼▼▼本会ホームページ内に詳しく紹介しています。▼▼▼

<http://www.shakyo-hiroshima.jp/>